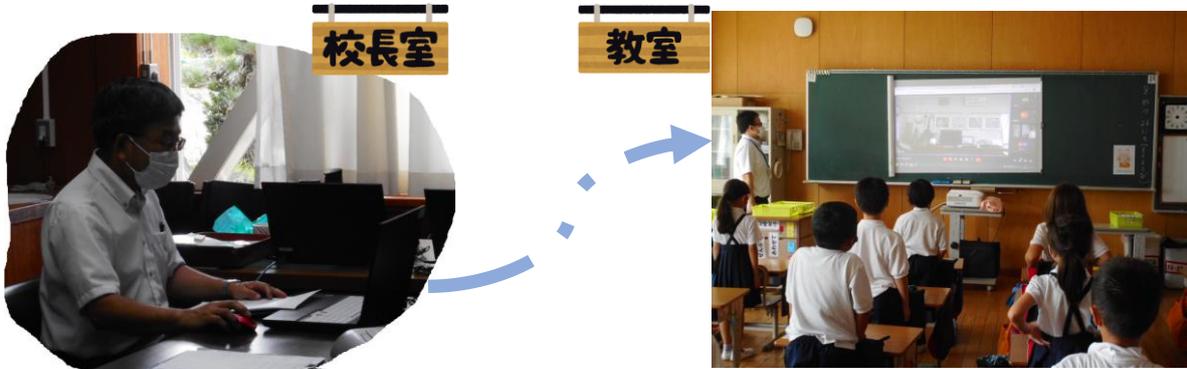




令和3年度 2学期始業式校長あいさつ



35日間の夏休み、北小の子どもたち、先生方が、事件に巻き込まれたり大きな事故やけがをしたりすることなく、元気に2学期を迎えられることを大変うれしく思います。今年の夏は、静岡県でもコロナが広がり、予防に努めた生活でしたが、今日の登校の時の明るいあいさつ、笑顔から、きっと休み中も充実した生活をしていただいていたのではないかと想像しています。

私の夏休みも、元気な夏休みでした。前半は、オリンピックを見て、心の元気をたくさんもらいました。後半は、コロナと熱中症対策をしながら、運動で汗をいっぱいかきました。オリンピックでは、世界中の選手が競技に全力を尽くしたり、お互いに讃え合ったりする姿に、たくさんの感動をもらいました。そして、北小のめあて、協働につながることも見つけました。今日は、私たち袋井市の隣の磐田市出身の卓球選手、混合ダブルスで金メダルを獲得した水谷選手、伊藤選手の活躍から見つけたこととお話します。

準々決勝のドイツ戦では、4ゲーム取ると勝利というところ、日本、ドイツお互いが3ゲームを取り、最終の第7ゲームとなりました。ドイツが点を重ね、2-9と、ドイツがあと2点とれば勝利となりました。ここから日本が逆転したことは、私は奇跡的だと思いました。まず4点を連続して取り、6-9になりました。しかし、次の1点を取られ、6-10。負けてしまうかなと思って見ていたら、また連続4得点で10-10の同点に追いつきました。そして、最後は日本が16-14で勝ちました。

この試合では、ピンチの時に、年上のお兄さんである水谷選手が伊藤選手に、「大丈夫」「相手も緊張しているよ」「思い切って」など、あきらめない気持ちを奮い立たせるような声掛けをしていたそうです。これは、言葉の協働でしょう。

二人は、次の台湾との準決勝も勝利し、決勝では中国に勝って、卓球で初めての金メダルを獲得しました。準決勝の後、伊藤選手は、「水谷選手がしっかりコースをついてくれて、相手選手に100%の力で打たせないことができた。」と言っています。オリンピックまで、二人は作戦を考えながら、長い時間、一生懸命、練習したのでしょうか。これは、行動の協働です。水谷選手は、「今日、彼女のプレーが素晴らしくて、彼女に任せるような思いでプレーしていました。」と言っています。この言葉から、二人の心が通じ合っていることがわかります。これは、心の協働と言えるのではないのでしょうか。



優勝した後、二人は、スタッフやボランティアのサポートからも力をもらったと話しています。スタッフやボランティアの人たちも協働しています。

このようなことから、協働について、お互いのよさを認めたり気持ちを分かろうとしたりする心の協働、お互いのよさを伝えたり励ましたりする言葉の協働もあり、心や言葉の協働を大切にすると、みんなで協力してよい考えや活動をつくるという行動の協働がたくさん生まれるのではないかと

と考えました。

オリンピックで、感動したことをもう一つ紹介します。それは、いろいろな競技で、選手がお互いに讃え合っていることです。試合の後、対戦した選手同士が抱き合ったり、表彰式で負けた選手が勝った選手の、また、勝った選手が負けた選手の手を掲げたりしています。ライバルとして高め合っている喜びを伝えている会見もありました。これらの姿は、勝敗や国を超えて協働を実現して、よい社会をつくっていく力になると思います。



北小では、2学期、運動会があります。また、「校外学習」が計画されて

いる学年も多いことと思います。運動会や校外学習を成功させるために、水谷選手、伊藤選手が見せてくれた、心、言葉、行動の協働と、「友達を もっともっと笑顔にしよう」を大切に、充実した2学期にしましょう。

最後に、健康について注意してもらいたいことを二つ伝えます。一つ目は熱中症対策。2学期は、まだまだ暑いので熱中症対策が必要です。しっかり水分補給し、暑い日はできるだけ涼しいところで過ごすようにしましょう。二つ目はコロナ対策。静岡県も緊急事態宣言が出ています。一学期に引き続き、マスクをする、マスクを取ったら話をしない、消毒・手洗い、ソーシャルディスタンスなど徹底して、感染対策をしてください。また、これからは



しくは、昨年1学期のように、できない学習や活動があり不自由しますが、この期間に、コロナ対策についてよく考え、身に付けるよう努めてください。

私も残念ですが、しばらくの間、朝、教室へ行ってあいさつすることを中止します。早く、今日お話しした行事などができるようになることを願っています。

今、流行っているデルタ株は、感染力がとても強く、しっかり対策しても運悪く感染してしまう人が表れるかもしれません。そのような時、感染した人を責めることは絶対にあってはなりません。

でも、みんなで努力して感染をできる限り防ぎ、みなさんやみなさんの周りの人の命、みんなで普通に生活できる時間を、みんなの手で守っていきましょう。医療従事者のみなさんも、地域のみなさんも、家族も友達も先生方も、みんなで努力しています。コロナ対策でも3つの協働を大切に、できるだけいい生活をしていきましょう。

緊急事態宣言下での2学期始業ということもあり、2学期最初の学校だより（第6号）は、コロナ対応を話題とさせていただきます。今回掲載した始業式での校長先生のお話をうかがってから、2週間がたとうとしていますが、子供たちも教職員も高い意識をもって感染症対策に努めているため、幸い、本校で感染が広がっているということはありません。

新型コロナウイルスという単語を初めて耳にしてからまもなく2年になりますが、私たちだけでなく、社会も世界も、この対応に振り回されています。閉幕を迎えたオリンピック・パラリンピックも、開催か中止か、様々な意見が国内外で飛び交う中、国やJOC、IOCが困難な状況下での開催について議論し、評価については分かれるところではありますが、なんとか無事に開催することができました。

子供たちが生き抜いていくこれからの時代は、このような困難な課題がますます増えるだろうと言われています。解決困難な課題を、異なる考えをもった様々な人と話し合いながら、協働して解決していく、東京オリンピック・パラリンピックの開催は、成功か失敗かの判断は別にして、そのモデルと必要性を示してくれたように思います。

学校と家庭をインターネットでつないだ学習活動を実施します！

<実施日>

9月15日(水)

完全下校時刻	13:35 (下校時刻が変更されています。)
リモート授業	14:30~15:15
学校で参加した児童の下校時刻	15:15~15:30

今後、万が一、休校や学級閉鎖等の状況が発生した場合に備え、持ち帰ったタブレットで学校と家庭をつないで学習をします。家庭で実施することができない児童は、学校に残って教室で参加します。やってみなければ分からない課題もあると思います。御理解・御協力をお願いします。